

豊かなカーライフを支援する



2018

証券コード:3673

株式会社ブロードリーフ

4 April

S	M	T	W	T	F	S
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

5 May

S	M	T	W	T	F	S
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

6 June

S	M	T	W	T	F	S
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	6/30

中間配当基準日

7 July

S	M	T	W	T	F	S
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

8 August

S	M	T	W	T	F	S
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

9 September

S	M	T	W	T	F	S
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
9/16	17	18	19	20	21	22
23/30	24	25	26	27	28	29

設立9周年

2017年12月期

第9期 ビジネスレポート

(2017年1月1日から2017年12月31日まで)

<https://www.broadleaf.co.jp/>

株主優待の
部品MAXでの利用期間は
4/10～9/30までだよ



TOPメッセージ

考え、つながり、広がり
社会に対して多様な価値を
創出してまいります。

– Field for Our Future –

代表取締役社長
大山 堅司



2017年12月期を振り返って

当社は、グループ理念「感謝と喜び」の心を大切にお客様の事業成長に貢献するビジネスに取り組んでいます。

当期におきましては顧客基盤の拡大と収益構造の転換を目指し、業務アプリケーション「.NS」のモデルチェンジを実施。「.NS2」として販売を開始しました。また、タブレット型業務支援ツール「CarpodTab」の顧客数増加を進めるとともに、自動車部品の電子受発注サービス「BLパーツオーダーシステム」の業界標準化に向けた施策を継続してきました。

その結果、当期の連結業績は、売上収益181億95百万円(前期比8.6%増)、営業利益30億11百万円(同2.0%増)、税引前利益29億89百万円(同2.3%増)、親会社の所有者に帰属する当期利益19億32百万円(同3.0%増)となりました。また、1株当たりの配当金は、中間配当11円と合わせて、年間配当22円となりました。

次期の配当予想につきましては、1株当たり年間11円

(中間配当5.5円、期末配当5.5円)とさせていただきます。これは2018年4月1日を効力発生日とする株式分割(1:2)を考慮した金額であり、実質的に当期と同額です。

2018年に向けて

2017年は、研究子会社のSpiralMindを設立したほかタジマをグループ会社にもかえ、営業力の強化、ビジネスへの応用を目指した先端技術の研究開発、次世代に向けたシステムの開発など、今後の成長を見据えた着実な足場固めを行うことができました。引き続き、タジマとの本社機能や各地の営業拠点の統合、コアコンピタンスであるデータの強化拡充、価値創出の中心となるビジネスプラットフォームの構築を推進するとともに、すべての人々、社会に対して多様な価値を創出していくため、コアビジョン「考える・つながる・広がるーField for Our Futureー」を実践してまいります。

財務ハイライト

		2016年度	2017年度	2018年度(予想)
売上収益(百万円)		16,760	18,195	20,400
システム販売		10,894	11,737	13,130
システムサポート		1,243	1,264	1,340
ネットワークサービス		4,623	5,194	5,930
営業利益(百万円)		2,953	3,011	3,300
営業利益率		17.6%	16.5%	16.2%
税引前利益(百万円)		2,921	2,989	3,260
親会社の所有者に帰属する当期利益(百万円)		1,876	1,932	2,100
資産合計(百万円)		25,322	28,063	-
負債合計(百万円)		6,163	8,326	-
資本合計(百万円)		19,159	19,737	-
親会社所有者帰属持分比率		75.7%	70.3%	-
営業活動によるキャッシュ・フロー(百万円)		3,142	2,558	-
投資活動によるキャッシュ・フロー(百万円)		-684	-2,072	-
財務活動によるキャッシュ・フロー(百万円)		-3,324	-2,251	-
現金及び現金同等物の期末残高(百万円)		7,738	5,970	-
基本的1株当たり当期利益(EPS)	分割考慮前	39.47円	43.63円	24.02円
	分割考慮後※	19.735円	21.815円	
1株当たりの配当額	分割考慮前	30.00円	22.00円	11.00円
	分割考慮後※	10.625円	11.00円	
連結従業員数(人)		772人	928人	-

注1 表示未満の数値を四捨五入にて換算表記しています。

注2 2016年12月期有価証券報告書提出時点より国際会計基準(IFRS)の導入を開始いたしました。

※ 当社は2018年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を行うことを決定しており、当該株式分割を考慮しております。

INFORMATION

1

持続可能な産業開発で未来を創るプロジェクト in インドネシア(スンバ島)



スンバ島は、インドネシアの中で貧困率が高く、学校の数や健康の度合いといったさまざまな統計データでも、最も悪い数値がでている地域です。しかしこの島にも「ニヒワトゥ」という世界でも屈指のビーチリゾートがあり、これまでで唯一観光地化に成功しましたが、その他の地域は政府による開発がなかなか進められず経済格差は広がるばかりでした。スンバ地域団体から依頼を受けたインドネシアの私立ダルマプルサダ大学は、東京都の産業振興に関するシンクタンク機能を有する産業技術大学院大学へ調査を依頼、1月にブロードリーフ含む視察団が現地入りしました。

スンバ島での調査では、今でも昔ながらの生活様式が受け継がれ、また有望な産業資源として、ビーチやスンバ島ならではの建築物やイカット織といった軽工業などがあり、地域の文化を軸にした新しい産業開発が十分に可能だとわかりました。今後ブロードリーフは、作業分析/業務最適化ソフトウェア「OTRS」を活用した日本国内外での産業工学実践に関する実績を生かし「持続可能な産業開発で未来を創るプロジェクト」として、技術の資産可能性評価、技術伝承に関する問題点の調査・課題解決を実施し、スンバ島での産業開発を支援していきます。



2

研究子会社SpiralMind SB ドライブと共同開発を開始

車内空間をより楽しく快適に！

オープンイノベーションを推進する研究子会社SpiralMindは、ソフトバンクグループのSB ドライブと、スマートモビリティ向けオープンプラットフォームの研究開発を進め、未来のクルマにおける新しいスタイルの提案を目指します。

まず第一弾として、SB ドライブが推進するバス型自動運転モビリティとSpiralMindの「アバターテレポーテーション技術※」を活用したスマートモビリティ向けコンテンツの共同研究を行っていきます。今後は、実証実験や受容性調査等についても検討していく予定です。

※人の顔の各器官(目、鼻、口、頭の傾き等)を検出し、インターネットを通じて遠隔地のディスプレイ上に表示された CG キャラクターの表情をリアルに表現でき、認識した表情データをAIが個性学習し、CGキャラクターにさまざまな表情を与えることが可能。



3

国立がん研究センターと ICTを活用した共同研究を開始

医師の「暗黙知」を「見える化」

ブロードリーフは、「内視鏡外科手術における暗黙知のデータベース構築と次世代医療機器開発への応用」(研究開発代表者:伊藤雅昭)の委託



研究開発の一部を、国立がん研究センターより受託しました。これは、AMED (国立研究開発法人日本医療研究開発機構)の平成29年度公募「未来医療を実現する医療機器・システム研究開発事業」の研究開発課題です。今後は、ブロードリーフがこれまで培ったICT利活用の知見・ノウハウを生かし、国立がん研究センターとともに、高度な手術手技の「見える化」に向けた研究開発を進めていきます。

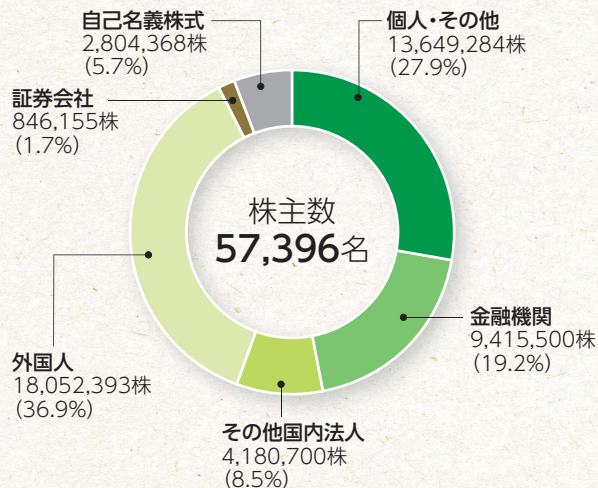
OTRSとは

作業分析／業務最適化ソフトウェアの「OTRS」は、映像による動作分析、時間分析などの機能により、生産・製造現場の作業時間短縮・省力化・コスト低減ができるソフトウェア。IE(産業工学)の手法をベースにしているが、その用途は製造業だけでなく教育訓練の材料や技能伝承のツールとして、物流、医療・介護、農業、教育など、さまざまな現場に広がっている。

会社概要 (2018年3月末現在)

名 称	株式会社ブロードリーフ
創 業	2005年12月
設 立	2009年9月
上 場	2013年3月 東京証券取引所第一部(コード:3673)
資本金	7,147百万円
役 員	代表取締役社長 大山 堅司 取締役副社長 山中 健一 社外取締役 鬼澤 盛夫 社外取締役 渡邊 喜一郎 社外取締役 池田 茂 監 査 役 青木 伸也 社外監査役 石井 友二 社外監査役 西本 強

所有者別株式分布状況 (2017年12月末現在)



株主メモ

証券コード	3673
事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	事業年度末日の翌日から3ヶ月以内
定時株主総会の基準日	12月31日
剰余金配当の基準日	期末配当 12月31日 中間配当 6月30日
単元株式数	100株
公告掲載方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
同連絡先・郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324(フリーダイヤル)
各種事務手続き	詳しくは、ホームページにてご確認ください。 https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/



株式会社ブロードリーフ

〒140-0002

東京都品川区東品川4-13-14 グラスキューブ品川8F

<https://www.broadleaf.co.jp/>



この冊子は、適切に管理された森林で生産された木材を原料に含む「FSC®認証紙」および、印刷用インキに含まれる石油系溶剤の一部を植物油に替えた「植物油インキ」を使用し、印刷工程において水を全く使用しない「水なし印刷」で印刷しています。